

○地域内フィーダー系統とは

定義：バスの停留所等において、地域間交通ネットワークと接続する（=バス停留所相互又はバス停留所と駅との近接・共有などで、乗り継ぎ円滑化が図られている）系統

「広陵元気号」は、近鉄高田駅やその他のバス停留所において、地域間幹線補助系統(主に、高田新家線、高田イオンモール線)と接続又は近接しているため、全路線がフィーダー系統に該当します。

○【2】地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

令和2年度から新型コロナウイルス感染症等の影響も受けているが、運行再編等を行ってきたことで令和4年度の利用目的別利用者は**51,056**人と昨年度と比較して増加しており、今年度は自家用有償旅客運送の導入に伴い、利用者の増加が予想されることから、昨年度の約**120%**を目標値とする。

(目標)

(人)



(効果)

中央幹線

・近鉄高田駅からはしお元気村までを結び、住民の通勤・通学、買い物、通院等の日常生活に必要な移動が確保される。

自家用有償旅客運送：

・リアルタイム予約型の自家用有償旅客運送により、広陵町内全域の公共・商業施設、地域のリサイクルステーション等に設置する乗降場所、コープなんごう及び当町が組合立で設置している国保中央病院を運行し、住民の買い物、通院等の日常生活に必要な移動が確保される。

○【項目3】目標を達成するために行う事業

13

の事業

- ①バスの乗り方教室 / ②広陵元気塾との政策間連携
- ③広陵元気号のイラスト募集 / ④お買い物ポイントカード制度の継続
- ⑤ICカード決済継続運用 / ⑥ラッピング車両で運行継続
- ⑦運転免許返納事業継続運用 / ⑧広陵元気号応援サポーター制度(予定)
- ⑨キャッシュレス決済(PayPay)の継続運用
- ⑩運行再編に伴う時刻表の作製
- ⑪広報挟み込みによる無料乗車券の配布
- ⑫バスロケーションシステム継続運用 / ⑬まちじゅう図書館事業

○【表1】地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者（地域内フィーダー系統）

2つ

の系統

①中央幹線

近鉄高田駅で補助対象地域間幹線系統「高田五條線」「高田イオンモール線」「高田新家線」と接続する。（近接）

②自家用有償運送

エバグリーン広陵店前で補助対象地域間幹線系統「高田イオンモール線」「高田新家線」と接続する。（近接）

- ①奈良交通株式会社が運行
- ②広陵町（株式会社愛和）が運行

○【5・6】地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者及び補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

運行委託料

＝ 運賃収入 - 国庫補助金

＝ 町負担分

中央幹線：奈良交通株式会社が収受
自家用有償運送：町が収受